

令和5年度 第2回 藤沢市立善行中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年7月4日（火）10時～11時30分
場 所 善行中学校 図書室

出席委員	<p>亀谷 亀雄（会長・善行地区自治会連合会副会長） 高森 保明（副会長・校長） 植木 春雄（善行地区自治会連合会会長） 松森 裕二（善行市民センター センター長・善行公民館 館長） 諏訪 理恵（善行中学校前PTA会長） 松本 美由紀（社会福祉協議会（CSW）） 齊藤 正枝（善行三者ふれあいネットワーク会長・善行地区青少年育成協力会会長） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 山田 大（教頭） 高塚 朝未（生徒支援担当教諭）</p> <p>【欠席】野島 美沙（善行中学校PTA会長）</p> <p>【傍聴者】1名</p>
次第	<p>1 学校の様子について 2 議 題 （1）今年度の取り組みについて（会長） （2）その他 ①標準服（制服）の改訂について 3 その他</p>
協議内容	<p>1 学校の様子について（校長） 前段部分の記載は、第1回の学校運営方針でもお話ししましたが、当事者意識を持って、自分たちの生きる社会は自分たちで作る、民主主義社会、自分も人も大切に。校内研究発表に向け取り組んでいる。不登校生徒の改善は数のみに囚われず状態の改善を重視している。状況としては、一定の成果を上げている。生徒主体とした活動に取り組んでいる。生徒会活動、行事、授業、生活において今まで以上に生徒が考え、運営を任せている。地域での中学生の活動を推進している。吹奏楽部、理科部、美術部、団地まつり・公民館まつりボランティア、地区防災訓練等の活動が以前から継続して行われている。今後も地域とともに教育活動を行っていききたい。新たに何か事業を立ち上げるよりも、今まで通りの地域とのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>2 議題 <会長> （1）今年度の取り組みについて（会長） 本日の議題は、「今年度の取り組みについて」となっております。 前回、第1回の協議会では、各団体において今年度の取り組みについて実施可能</p>

な企画があれば、メールで事務局に情報提供することになっていました。本日まで、事務局に各団体からの提案はなかったと聞いております。そこで、今回も前回に引き続き、学校に対して協力できることはないか協議するということによろしいでしょうか。

また、学校の様子について、何かご意見はございますか。

<植木委員>

不登校になる状況が理解できない。改善するには保護者がどのような対応をするのかにかかっていると考える。不登校の数は現在どのようになっているのか。

<高森校長>

不登校の要因は一人ひとり違っており、抱えている課題も多様であり、一概に保護者や家庭の問題と断定することはできない。

<松森委員>

不登校の問題は、必ずしも学校に行くことがベストという社会でなくなってきているので難しい問題である。

<人見委員>

親のせいにはできない。親の支援が必要。この問題について共通理解をはかるためには何時間も必要であり、別の機会があれば十分な時間を取って話し合いたい。

<齋藤委員>

不登校生徒の家庭背景が一人親、生活困窮、ヤングケアラー、外国籍の親など一人ひとりの問題が違うためひとくくりには話ができない。不登校に関わる状況の共通認識を持つ必要を感じる。

<松本委員>

各家庭の背景が違う状況で支援は難しい。体育祭を少し参観して、楽しそう、一人ひとりが輝いていた、学校や地域でそういう場を少しでも多くしていくことが良い状況を作り出すのではないかと。標準服の改定や50周年行事に生徒を積極的に取り組ませるのも良い。

<諏訪委員>

P T Aとしては50周年行事や標準服の検討に関わっていける、協力できると考えている。制服が学校に足が向かない要因となっていることもある。不登校については、学校が要因、家庭だけの問題ではないケースもあり、改善への手立ては、はっきりしたものがなく親も悩んでいるのではないかと。学校と家庭が協力することが必要であり、面談等で信頼関係を高め、お互いに生徒を励ますことができるようになると良い。

<高塚委員>

体育祭は生徒が主体となって運営したため、とても大変そうであった。その一方で大きなやりがいを感じていたようである。長欠について、なぜ自分が不登校

になったか、わからない生徒がおり、自分でもどうにもならない、家庭でもどうにもならない、という状況が見て取れる。家庭への支援が自分自身どこまでできるのか、自信はないが「おしゃべりひろば」など外部機関が開催する不登校支援事業に参加した保護者から好評であったため、何か善行中学校の生徒にもそういう支援を広めていきたい。

(2) その他

①標準服（制服）の改訂について

<会長>

次にその他です。事務局から報告があるようなのでお願いします。

<事務局>

前回、事務局から標準服改訂について「代表メーカー1社と進める」方法で進めることをご承認いただきました。今回は、標準服の必要・不要、改定の必要・不要を含め「生徒」と「保護者」に実施したアンケート結果をご覧頂き、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。5分間ご覧頂く時間を取ります。

<会長>

ご発言がある方はいらっしゃいますか。

<諏訪委員>

夏はポロシャツが望ましいと考えるが、導入を検討いただきたい。

<植木委員>

体育のある日はジャージ登校で良い。週のうち2/5が標準服なら必要ないのでは？

<校長>

今はコロナ感染症対策でそのようになっているが、ゆくゆくは元に戻すことも考えている。

<人見委員>

制服・標準服・ジャージでもOKとなることが理想。それだと先生が管理するのが大変なので、まずは、制服 or ジャージでスタートして、ゆくゆくは私服もOKとすることが良いと考える。

<人見委員>

今年度の取り組みについての議論がなされていないようですが。

<会長>

先ほどの各委員からご意見を伺ったなかで、その部分も含めていたという認識でしたが、何か提案がございますか。

<人見委員>

座談会などを開催してはどうか。学校の先生の人柄を保護者・地域の人があまり理解されていない。先生方を開示していく取り組みはどうでしょうか？

<校長>

保護者とざっくばらんに話す機会がないので、8/31(木)にSNS講習、授業参観、学級懇談会を企画した。夏休み明け初日なので、ゆったりとしたプログラムになっている。学校運営協議会の皆様にも要項を発送しますので是非お越し頂きたい。

学校として、この協議会を母体とした企画はまだ考えていないが、ゆっくりと時間をかけて地域にとっても学校にとっても有益な活動を模索したい。

<人見委員>

保護者の皆さんの前でお話しさせて頂いた印象から、きっと保護者の方との良い交流が持てると感じたので、座談会を思いついた。個別の相談ブースを設けて少人数の話し合いを行うというのはどうでしょうか。

<齋藤委員>

善行中学校でコミュニティースクールが開催されていることをアピールする看板等を設置してはどうか。いろいろな場面で発信することが有効と考える。美術部の生徒に看板作成を依頼したら、活躍の場ができる。

<人見委員>

小学校や卒業した生徒、地域に向けた発信が必要と考える。QRコードを印刷して看板として掲示して見てはどうか。

<諏訪委員>

小学校でもコミュニティースクールは始まっている。連携してもよいのでは？

<植木委員>

自治会加入率が低く、なんとかしないといけない。中学生の力を借りたい。それで良いのか、という思いがある。他の中学校で地域学習の一環として、生徒に加入促進のポスターを作成する活動に協力してもらった例がある。地域に対する意識を高めてほしいと思う。地域の防災訓練にしても生徒会の代表生徒だけでなく、もっと多くの生徒に参加してもらいたい。

4 その他

<事務局>

今年度の運営協議会の予定は次第に記載した通りです。次回は10月6日(金)の10時から、会場は会議室になります。

次回開催日程 2023年 10月6日(金) 10時～
場所 善行中学校 会議室